

やまのかたりべ

第 69 章 富士山

毎年新緑の季節に体力測定なる富士登山を夫との恒例行事にしている。富士山に登るときは前夜に出発し5合目にて仮眠、体を高所に慣れさせ翌日登山というスタイルで毎年臨んできたが、この時期の五合目は夜中も車やバイクがきて熟睡できない。前夜に出発するか、当日早く起きて出発するか夫とぎりぎりまで悩んだ結果、家にてしっかり睡眠をとる方を選択。前日に登山に必要なものを車に積み込み、日付けが変わる前に就寝。

5月15日(日) AM3時30分起床

お湯を沸かし持参するお茶の準備。冷蔵庫に入っている行動食を取り出しテルモスと一緒にバックに放り込む。

4時10分 自宅を出発

コンビニで朝食と昼食を購入しいよいよ出発。天気は快晴、登山日和である。

東名で御殿場口まで向かう。今年も「富士宮登山口」から富士山頂を目指す。

<ポイント1>

富士宮ルートは別名「表口登山道」といわれる。もとは平安時代に建てられた富士山本宮浅間大社のある南麓が表玄関であった。しかし、江戸時代の富士講(講社)の隆盛によって江戸に近い吉田口がメインルートになったという歴史的背景がある。(日本百名山富士山 朝日出版社参考)

詳細を知りたい方は下記のホームページ参照。

<http://www.sengenjinja.jp/index.html>

6時40分 富士宮登山口新5合目(標高2,400m)到着

頑張って運転をしてくれた夫だが「眠い！」とのこと。ここで15分ぐらい仮眠をとる。その間私はせっせと登山準備を始める。



(新五合目より、富士山を望む)

毎年来ているが、一目瞭然、今年は雪が少ない。……果たして大滑り台、今年は可能であろうか？？しかしこの雪の少ない状況でもスキーやボードをかついで登っている人たちがいるではないか…。5合目から見る限りで上記写真のような状態。上部には雪が残っていると期待しつつ山頂を見上げる。

7時20分 出発

眠い眠いと連呼する夫、ここまで来たのだから登りましょう～。日焼け対策もしっかりして出発。

5 合目から 6 合目……本当に雪がない。



(雲海荘より、宝永山との分岐点)



(6 合目より、雲海は既に眼下に)

10 時 20 分 元祖 7 合目到着

上部から楽しそうにソリーで滑ってくる若者たちの声がする。その先頭を気持ちよくグリセードで滑っていく一人の男性。実はこの男性、数年前自分たちが雪山を始めるにあたり、はじめてガイドをお願いした方だ。その後も何度かバリエーションにも連れていってもらいロープワークを教えていただいた。



(↑ 7 合目より上部)

楽しそうに滑ってくる若者達 →)



ご挨拶できなかったのが残念だったが、楽しそうに富士山行を楽しんでいる若者たちを見て、相変わらず素敵な仕事をしているな〜と遠くからぼんやり見つめていると、遅れて夫が到着する。気を取り直して、我々は山頂を目指すことに。

7 合目から、夏道から右にずれれば残雪が出現していたが、8 合目まで夏道で登ることにする。標高も 3,000m を超え、心臓がバクバクしてくる。…体力的には大丈夫であっても肺活量が低下しているようだ。

10時45分 8合目到着

いよいよ雪上を歩く。アイゼンを装着。「やっぱりこうでなくちゃね～」とテンションがようやく上がってくる夫。よかったよかった。スキーを担いでいた人が「雪が出てきて安心しました～」と笑顔で話しかけてくる。「本当にそうですね」とこちらも笑顔でかえす。



<ポイント2>

富士宮ルートは4つある富士山の登山ルートの中で一番山頂までの距離が短いコースであるが、夏は日の出位置が北に寄っているため8合目以上でないにご来光が見られない。(日本百名山富士山 朝日出版社参考)

8合目から山頂まで、心置きなく雪道を楽しむ。自分たちにとったら今シーズン最後の残雪登山となる。9合目から山頂を目指すスキーヤー、ボーダーの板が太陽の光でキラキラしているが、なかなか進まない。

最後の登り、いつもながらこの少しがきつい富士山。

11時50分 9合目到着

お茶を飲み一息……。8合目で会話したスキーの方は我々より一歩先に山頂に向かっていている。今回は各小屋で結構休憩をとっているが、高山病の症状である頭痛が出そうな予感がする。

9合目を出発し、ゆっくり息が切れないように登る。頂上直下になると夏道が出ている。折角アイゼンを付けているので、夏道から左にそれて山頂を目指す。結構傾斜があり、ところどころ岩が見えている。我々が登っている時、ここをボーダーの方が滑って降りようとしていた。「ボード付けて降りられそうですか？」と尋ねてくるボーダーに「岩が出ているのでもう少し下からのほうがいいと思いますよ」と答える夫。岩が出ていなくても、よくこんなところが滑れるものだと感心してしまう。



(↑ 山頂直下 →)



12時50分 山頂到着(剣ヶ峰には登っていない)

山頂はまだそれなりに雪が残っていたが昨年と比較するとやはり少ない。いつもの火口付近まで行きお昼休憩をとる。風も強くなく、暖かい穏やかな富士山である。

13時25分 下山

今年はオーバーパンツ(ゴアテックスのパンツ)を履くことなく山頂に登れた。大滑り台をするにはオーバーパンツを履くのが必須であるが、履くにはアイゼンやスパッツを一度外さなければならない。……よし、今回はグリセードを習得して帰ろう!!とうことで、持参したソリーは使用せず。夫のほうは最初からオーバーパンツを履いていたので9合目から大滑り台の開始である。



(山頂風景)



(山頂からの下り)

私のグリセードはどうしても最初は腰が引けてしまう。何度も転びそうになりながら体勢を整える。下っているのに息が切れる始末。膝上の筋肉が非常に疲れる。しかしコツをつかんだのか、8合目途中からいい感じにバランスがとれ、それなりに滑れている。7合目に向かう頃には、夫に「うまくなったね」と言われた。「やった!!」

6合目からは、夏道にて下山。雪溶け水が登山道を流れている。今日一日でも結構溶けたようだ。

14時50分 雲海荘到着

暑さのせいもあるが、疲れきった多くの登山者が休憩中。

15時15分 新5合目到着

荷物を車に片付ける際に、ちょっと油断して半袖になったら見事に日焼けしてしまった…。富士山の紫外線は侮れない。そして案の定、高山病(一気に下るので、私の体は気圧の変化に順応できず)になり、高速に乗ってもしばらく頭痛が治まらない。珍しく夫も頭が痛いと言っていた。熱中症か??

今年も富士山、無事登れてよかった。しかしタイムはというとだんだん遅くなってきているようで……体力は年々衰えている……。

何かトレーニング、考えないといけませんね。

5月15日(日)

7時20分 新5合目出発

10時40分 8合目着

12時50分 富士山頂着

13時25分 富士山頂発

15時15分 新5合目着



(奥に剣ヶ峯)

同行者:松田次郎

文責:松田留美